

義務教育学校の設置に関する検討委員会だより ⑩

東国分中学校ブロック 義務教育学校の設置に関する検討委員会

第16回検討委員会の概要をお知らせいたします。

- 1 日 時 令和6年3月1日（金） 9時40分～10時40分
- 2 会 場 市川市立東国分中学校
- 3 委 員 ・大学教授（委員長）各学校（東国分中・曾谷小・稲越小）の学校運営協議会代表（13名）
- 4 内 容 ・プロジェクト会議、児童生徒・教職員の取組、東国分爽風学園の成果と課題報告書の報告
- 5 説明事項及び協議内容

※ 教育委員会の説明事項の概要は、「会議資料」をホームページに掲載していますので、詳しくは、そちらをご覧ください。

【教育委員会⇒分野別情報「学校教育・学校施設」⇒義務教育学校の設置に関する検討委員会】

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/edu20/1111000002.html>

**報告****(1) プロジェクト会議について****①【第21回プロジェクト会議（令和5年10月31日（火））主な会議内容】**

・ブルーリボン運動、ブロック定例研などについて、検討したことを報告しました。

②【第22回プロジェクト会議（令和5年11月28日（火））主な会議内容】

・ブロック定例研、学校見学会、地域への東国分爽風学園の周知について、検討したことを報告しました。

③【第23回プロジェクト会議（令和6年1月23日（火））主な会議内容】

・学校見学会、地域への東国分爽風学園の周知などについて、検討したことを報告しました。

(2) 児童生徒の取り組みについて**①小学校同士による合同校外学習について**

・10月18日（水）に、曾谷小学校と稲越小学校の3年生が、合同校外学習を実施したことを報告しました。
・児童は、幼稚園や保育園で一緒だった友達との再会を喜びながら、昼食を食べる姿が見られました。初めて顔を合わせた児童も、交流をする中で徐々に慣れ親しみました。

②3校合同あいさつ運動について

・10月17日（火）から10月19日（木）の登校時刻に、3校合同のオンラインによるあいさつ運動を実施したことを報告しました。
・あいさつ運動を終えた児童生徒からは、「東国分爽風学園の3校をリモートで繋いで、あいさつができてよかった。」「あいさつ運動のおかげで、学校全体の雰囲気明るくなり、違う学年の先生や生徒、地域との関わりが増えた。」などの感想が寄せられました。

③ブルーリボン運動について

・12月1日（金）に、東国分中学校にて、東国分中学校の全校生徒及び曾谷小学校と稲越小学校の6年生の児童を対象とした「いじめ防止講演会」を開催しました。また、12月8日（金）から12月22日（金）までの間、いじめをなくす「ブルーリボン運動」を実施しました。
・ブルーリボン運動を終えた児童生徒からは、「ブルーリボンをみんなが帽子につけることで、その取組が広がっていると感じました。」「同じ目的を成し遂げようという小学生と中学生の気持ちが繋がり、東国分爽風学園の協調性を感じられた。」などの感想が寄せられました。

④東国分爽風学園の児童生徒との対談について

- ・12月22日（金）に、東国分中学校で、東国分爽風学園の児童生徒、検討委員会の委員長及び各校の校長による対談を実施したことを報告しました。
- ・対談では、「日本一笑顔の溢れる学園にするために、イベントや学校行事を皆さんと全力で取り組みたい。」「中学生との交流をこれからも続けて、中学生をお手本に小学生も成長してほしい。」など、児童生徒との活発な意見交換が行われました。

(3) 教職員の取り組みについて

①ブロック定例研について

- ・11月18日（水）東国分爽風学園として、教職員同士のコミュニケーションを育み、更なる連携を深めることを目的に、合同職員研修会を実施したことを報告しました。

(4) 東国分爽風学園の成果と課題報告書について

- ・東国分中ブロック小中一貫型小学校・中学校に関する基本計画では、令和6年度に東国分爽風学園の成果と課題を整理し、施設一体型の義務教育学校の設置について検討・判断することとしております。
- ・現在、事務局、検討委員会委員長及び3校の校長・教頭・先生方で報告書を作成しております。その内容について、東国分爽風学園の成果と課題に関する報告書の概要版を作成し、検討委員会で報告しました。

【委員会からの意見等】（○：委員長及び委員 ●：事務局）

- 報告を聞いて、今は校舎が離れていることで、何かと取り組む際には大変なのだと思います。一か所でできれば最高の活動になるのではないのでしょうか。
- 1月20日に東国分爽風学園の音楽祭を拝見し、音楽の力に感動しました。中学生が楽器の準備や会場設営を行っていました。この姿を見て、これこそ義務教育学校の力だと思い非常に感動しました。稲越小学校では、ぼかぼかグループの6年生の姿を見て低学年は様々なことを学びます。義務教育学校になると、6年生が中学生の姿を見て大きく成長するのではないかと思います。
- 登下校時に子ども達と会う機会があります。中学生は、ブルーリボンを付けている子が多いと感じています。取り組みに関して、子どもたちが前向きに、そして積極的に関わっていて嬉しく思います。小学校でも、今後さらにブルーリボン運動に賛同して、活動に参加してくれる子が増えると良いです。
- 東国分爽風学園の児童生徒との対談について、実際に子ども達から意見を聞けるのは貴重な時間であり、今まではこのような機会がなかったと思います。話している内に新たなアイデアが多く生まれると思うので、このような機会も今後、増やしていけると良いと思います。
- 課題について、3年間の期間を通して見えてきた部分があるので、これを改善・実行していけば、また新たな課題が出て、どんどん良くなると思います。
- 検討委員会が立ち上がり、学園の名称を検討するところから始まり、各校が離れているにも関わらず、この短期間でよくここまで素晴らしい活動と連携ができたなと思います。本当に文句なしの活動です。
- 今後は学校と地域の方が会う機会をさらに増やしていくこと、そして、どのように学校と地域の方が顔見知りになっていくかが課題だと思います。
- 最後に、本日皆様から様々な意見をいただきましたが、総体的には、校舎一体型の義務教育学校の設置に向けた検討を、教育委員会に改めてお願いしたいということで、報告書を取りまとめ、教育委員会に提出させていただくということでもよろしいかでしょうか。
(異議なし)
- 校舎一体型の義務教育学校の設置についてのお話がありましたので、それを踏まえて、来年度は、義務教育学校の具体的な検討を進めていきたいと考えていますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

< 次回の義務教育学校の設置に関する検討委員会の開催予定 >

日程：令和6年6月ごろ 場所：東国分中学校（予定）

お問い合わせ先（事務局）：市川市教育委員会 学校教育部 学校環境調整課

Tel:047-702-5355/Fax:047-383-9203